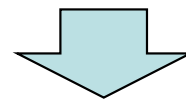


# 情報デザインの練習 小論文の作成

あなたは、文章を書いたり、小論文を作ったりすることは得意ですか？



もし、苦手な場合は、  
過去に、あなたが正しく文章を作ること  
を学習する機会がなかっただけです。  
情報のデザインの観点：  
上手な文章より、相手が理解しやすい  
文書を作る。



# 小論文のタイプ

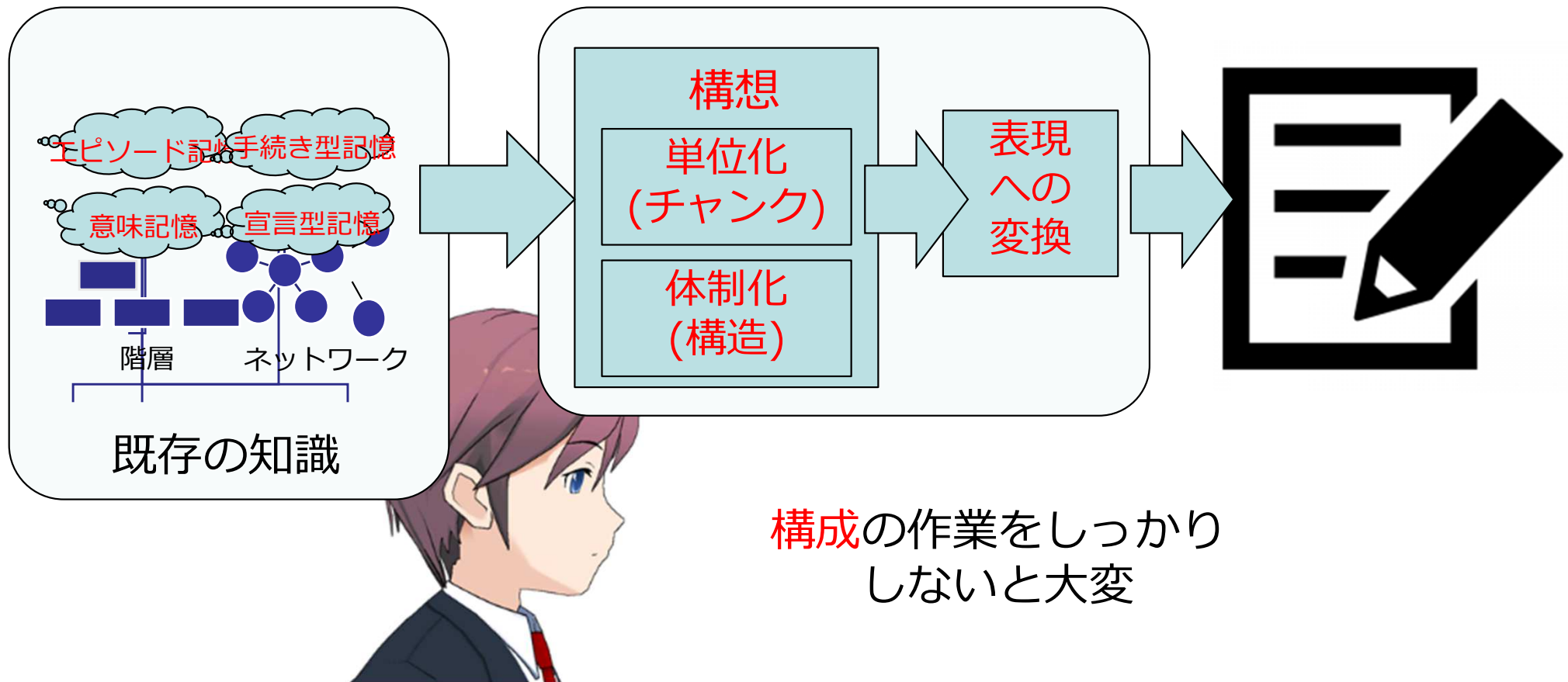
分類	資料提示	概要
解釈・要約型	有	提示された文・図表・グラフ等の情報を要約・分析した結果を記述する。
問題解決型		提示された情報や問いに対して、その背景・現状・問題点などと解決方法を論理的に記述する。
主張型		提示された情報や問を出発点として、自分の考えを論理的に記述する。
ディベート型		提示された情報や問いに対して、賛成・反対の意見を、その根拠とともに論理的に記述する。
複合型	有	上記のものの組み合わせ。例えば、解釈・要約したものについて、問題解決方法を記述するものなど。

# 小論文を作る作業とは(1)

大学入試で  
資料提示が無い場合

短い小論文のテーマ

入力



# 小論文を作る作業とは(2)

大学入試で  
資料提示がある場合

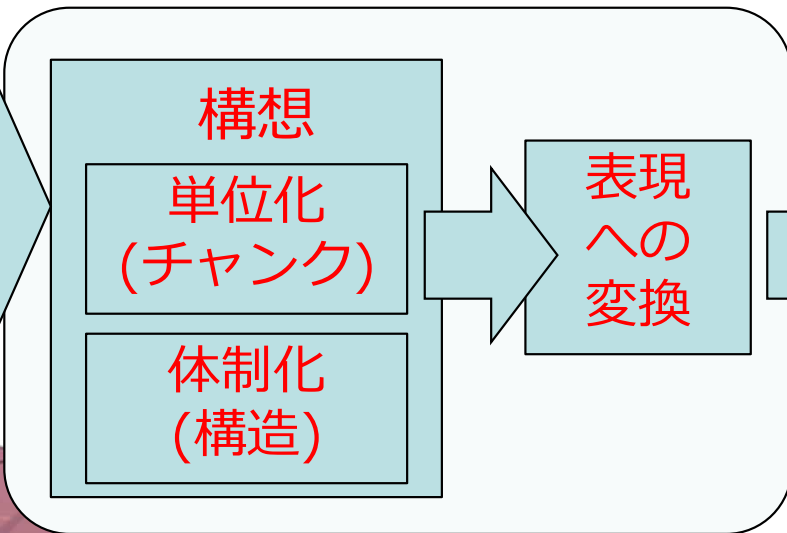


大量の資料(情報)

理解

小論文のテーマ

入力

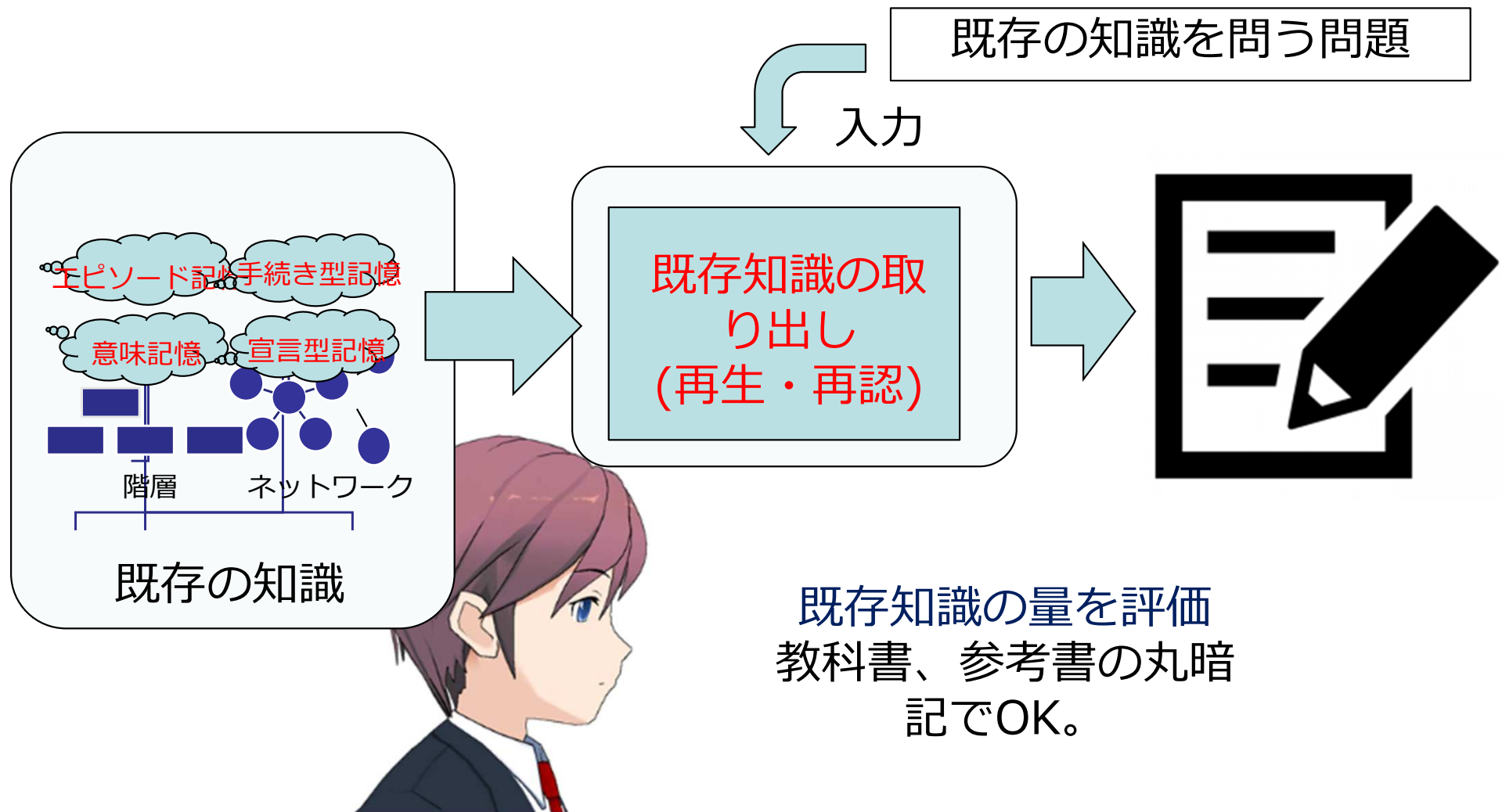


理解とその活用作業が追加  
(理解と表現の能力が問われる)



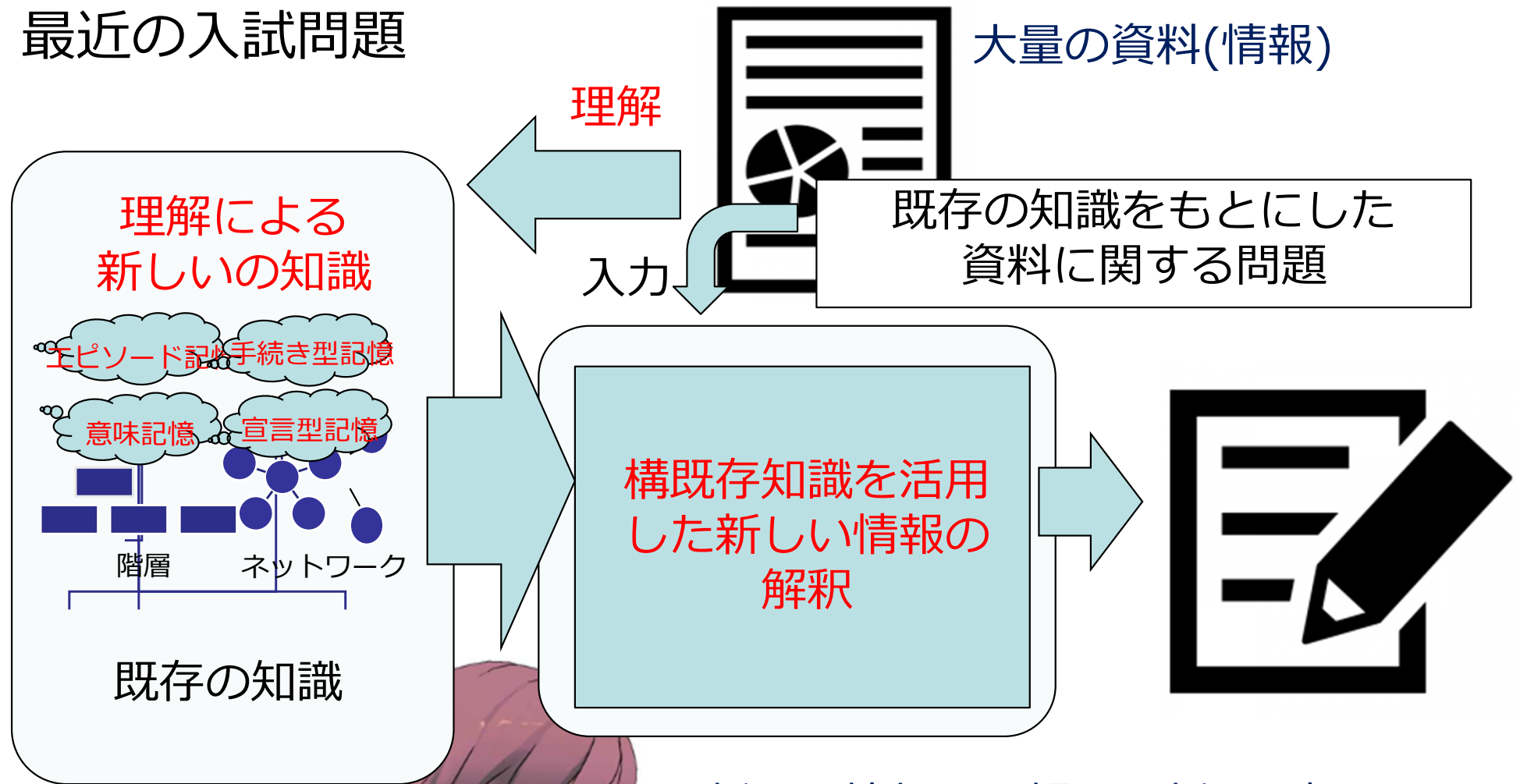
# 補足：大学入試問題の変化(1)

## 従来の入試問題



# 補足：大学入試問題の変化(2)

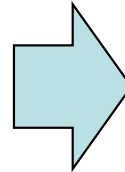
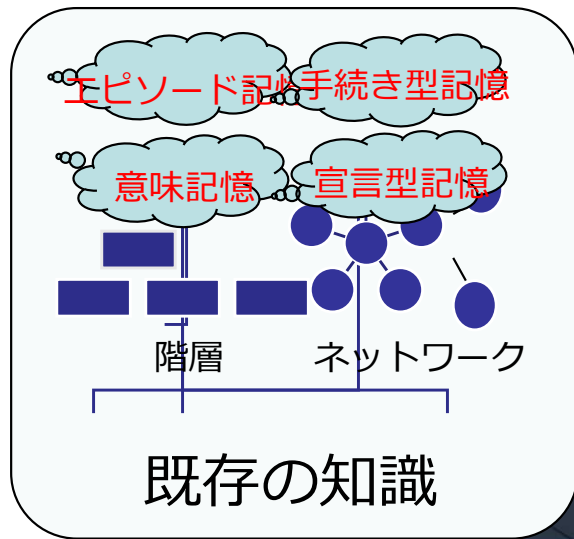
## 最近の入試問題



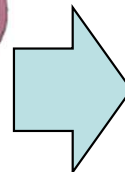
新しい情報を理解し、新しい知識を構築・活用することが評価  
教科書、参考書の丸暗記は通用しない。



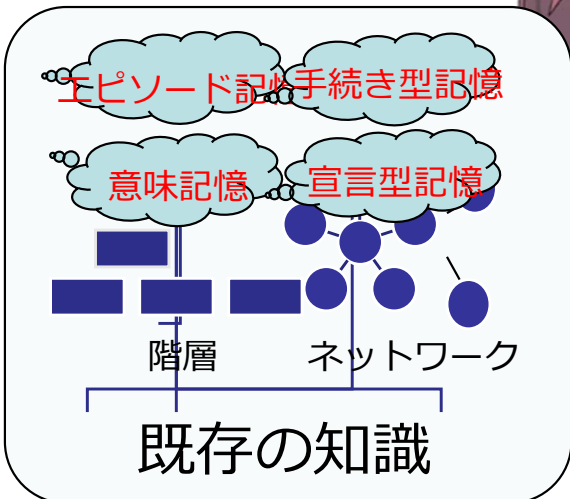
# 補足: AIの時代に要求されること



多くのことを単純に  
知っていること  
=AIに負けるので要  
求されない

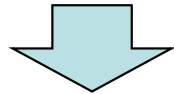


外部の知識を理解、  
活用することが要求  
される。



## 補足：学習方法も変えよう

与えられた勉強



自分にあった  
主体的な学習

- ・ 参考書、教科書の単純暗記
- ・ 分断した知識の記憶
- ・ 暗記することが目標の勉強

### 知識の理解と活用

- ・ 実社会/生活に関連付けた知識
- ・ 自分の目的を意識した/目的にあった学習

:例えば活用できる英語を学習するために単語を覚えることなどは否定するものではない:活用に必要  
な既存知識は必要



# いよいよ小論文の作成



適切な情報の  
固まりの作成

**チャンク**

情報の作成と提示

**構造化**

適切な情報の  
提示構造の作成

構造を意識した  
小論文の作成



段落を元にした  
小論文の作成

# 文書の構成要素

高校生の実態が多様化する一方で、情報及びコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段の活用が社会生活に必要な基盤として発展する中、情報や情報手段を適切に活用して高い付加価値を創造することができる人材の育成が求められている。

高校生の実態が多様化する一方で、情報及びコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段の活用が社会生活に必要な基盤として発展する中、情報や情報手段を適切に活用して高い付加価値を創造することができる人材の育成が求められている。そこで、共通教科情報科の授業では、情報活用の実践力の確実な定着を図るとともに、情報に関する倫理的態度と安全に配慮する態度や規範意識の育成を特に重視した上で、生徒の能力・適性、興味・関心、進路希望等の実態に応じて、情報や情報技術に関する科学的あるいは社会的な見方や考え方について、より広く、深く学ぶことが必要となる。このことを踏まえ、各科目の内容を次のように改善した。

高校生の実態が多様化する一方で、情報及びコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段の活用が社会生活に必要な基盤として発展する中、情報や情報手段を適切に活用して高い付加価値を創造することができる人材の育成が求められている。そこで、共通教科情報科の授業では、情報活用の実践力の確実な定着を図るとともに、情報に関する倫理的態度と安全に配慮する態度や規範意識の育成を特に重視した上で、生徒の能力・適性、興味・関心、進路希望等の実態に応じて、情報や情報技術に関する科学的あるいは社会的な見方や考え方について、より広く、深く学ぶことが必要となる。このことを踏まえ、各科目の内容を次のように改善した。

「社会と情報」については、情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てることをねらいとする。

「情報の科学」については、情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解させるとともに、情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得させ、情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を育てることをねらいとする。

この二つの科目の学習では、情報通信ネットワークやメディアの特性・役割を十分に理解し、安全に配慮し、情報を適切に活用できる能力を育成する指導をより一層重視している。また、情報通信ネットワークや様々なメディアを活用して、新たな情報を創り出したり、分かりやすく情報を表現したり、正しく伝達したりする活動を通して、合理的判断力や創造的思考力、問題を発見・解決することができる能力を育成する指導についてもより一層重視している。

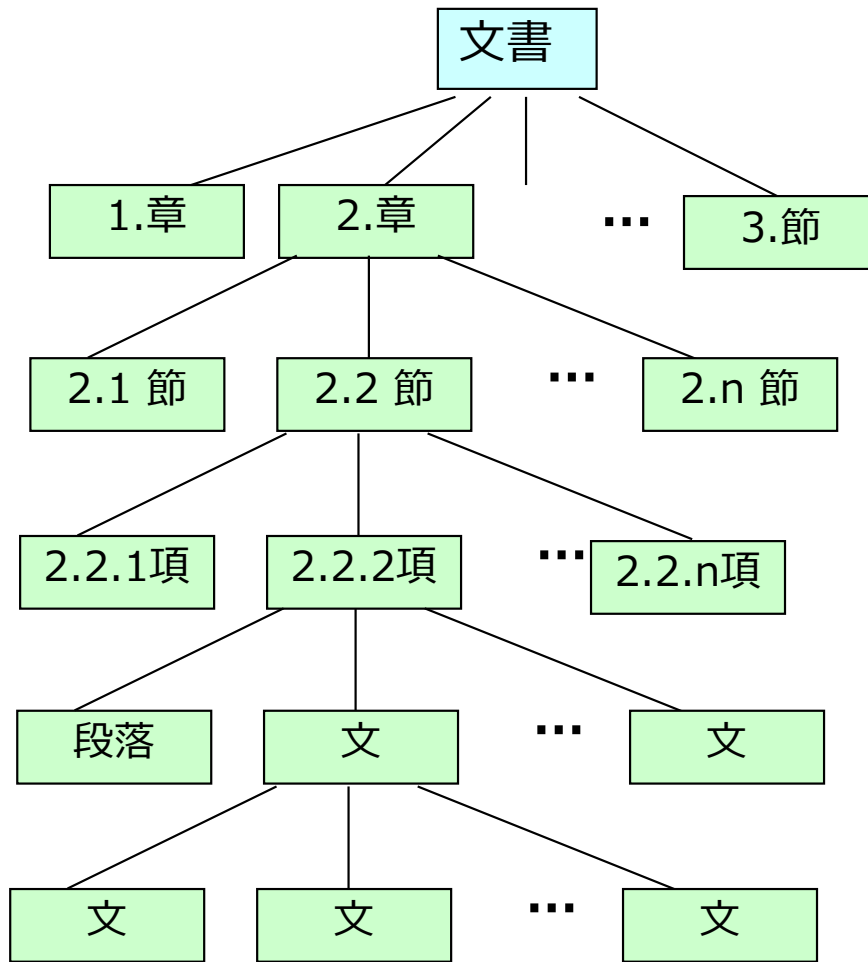
文(。で区切り)

段落:文の集まり  
(改行で区切り)

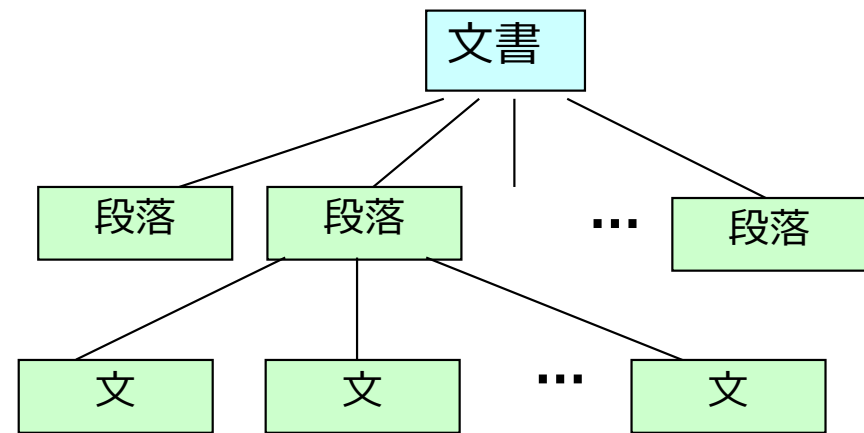
文章(文書):  
段落の集まり

# チャンクで文書を考えよう

## 大きな文書



## 小さな文書



文章の構造を考える場合も、各要素の構成する数を意識する必要があります。例えば段落の中の分の数は多くても7で2-5程度が適切であると言われていています。



## 小論文の作成:簡単な課題

昔話や童話を3～5行程度の箇条書きで書いてみてください。  
浦島太郎、かさ地蔵、かぐや姫、シンデレラ …

例: 桃太郎

おばあさんが川で大きな桃をひろう

桃から赤ちゃんが生まれて、桃太郎と名づける

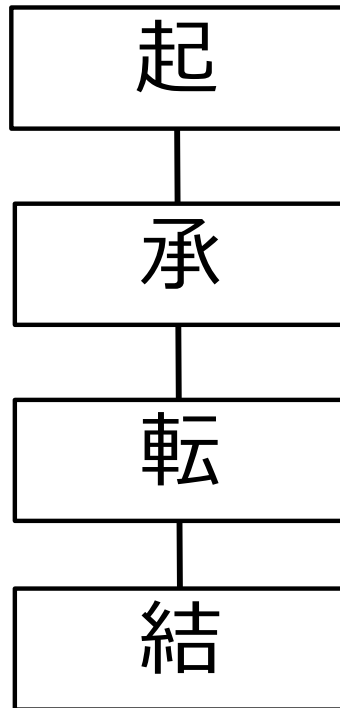
桃太郎は大きくなって鬼退治に行く

途中で、犬、サル、キジを家来にする

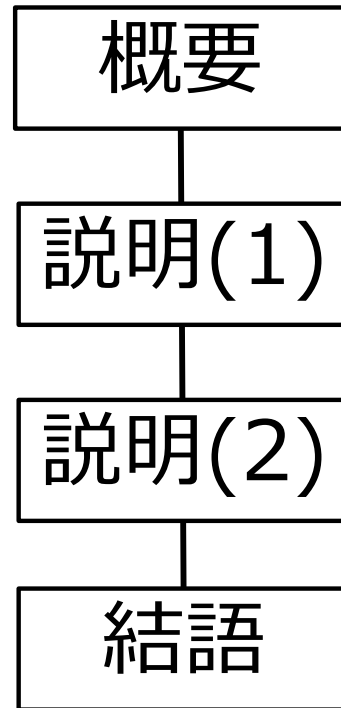
鬼を退治して、宝物持って帰る

# 文書には**構造**がある

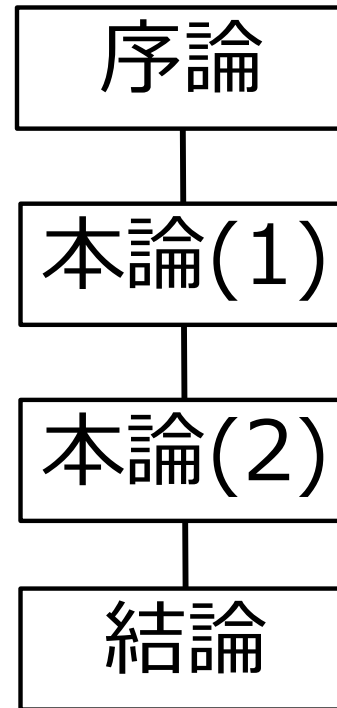
物語



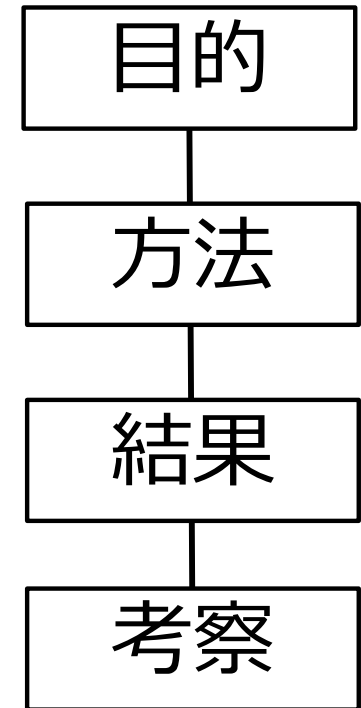
自己PR



小論文



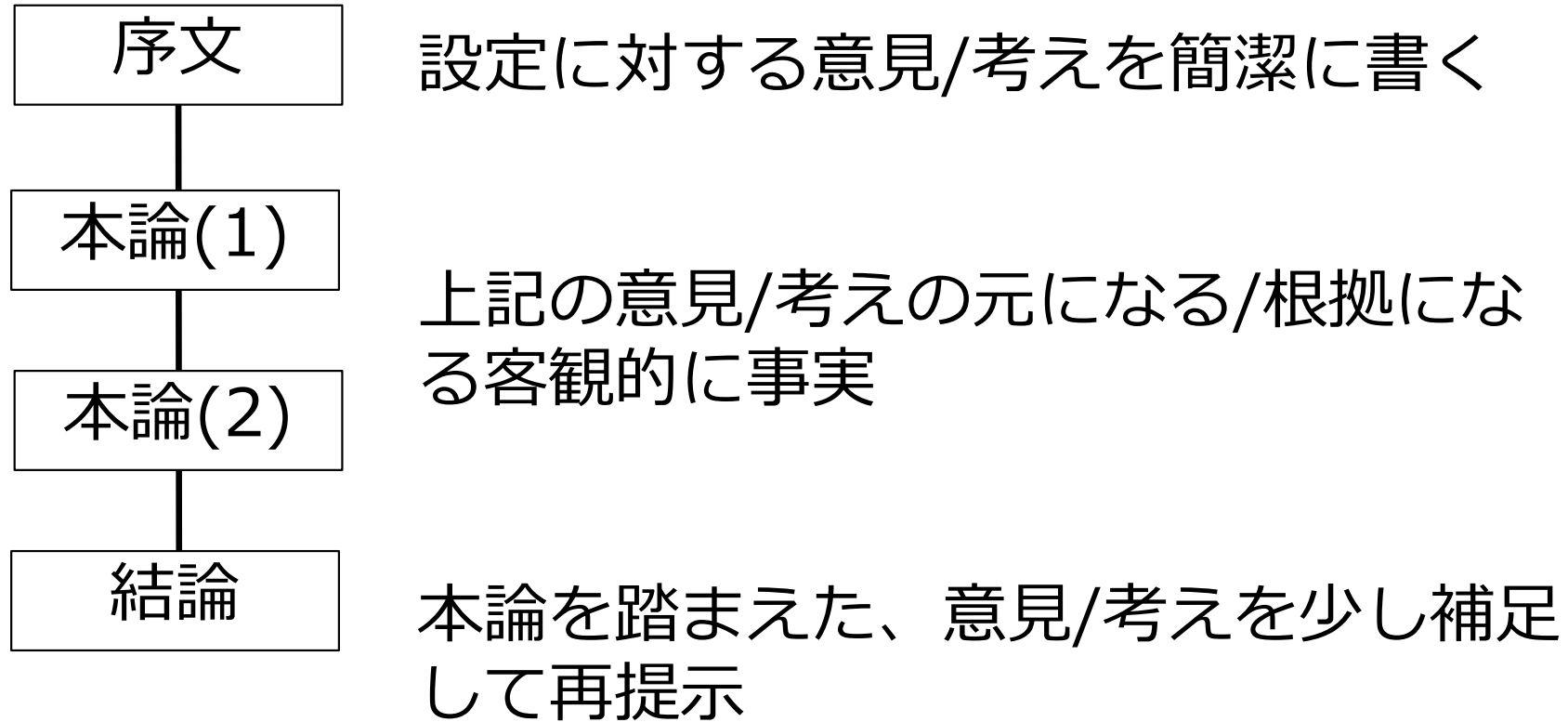
実験・調査



# 小論文のタイプ

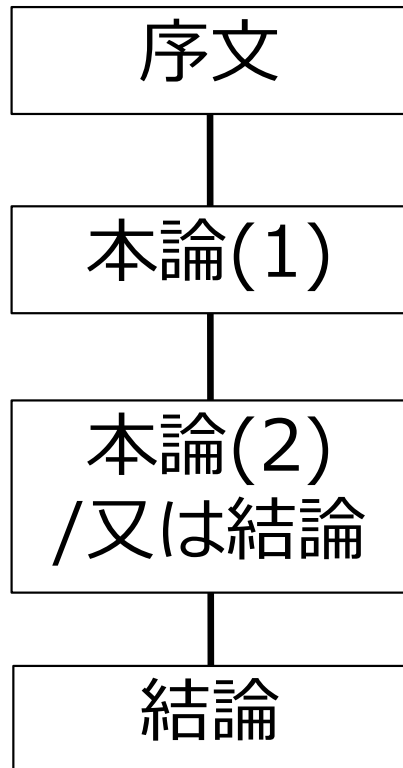
分類	資料提示	概要
解釈・要約型	有	提示された文・図表・グラフ等の情報を要約・分析した結果を記述する。
問題解決型		提示された情報や問いに対して、その背景・現状・問題点などと解決方法を論理的に記述する。
主張型		提示された情報や問を出発点として、自分の考えを論理的に記述する。
ディベート型		提示された情報や問いに対して、賛成・反対の意見を、その根拠とともに論理的に記述する。
複合型	有	上記のもの組み合わせ。例えば、解釈・要約したものについて、問題解決方法を記述するものなど。

# ディベート型の構成



# 問題解決型

例えば：近年の子供の食生活について、自分の考えを述べる。



設定に対する状況/考えを簡潔に書く

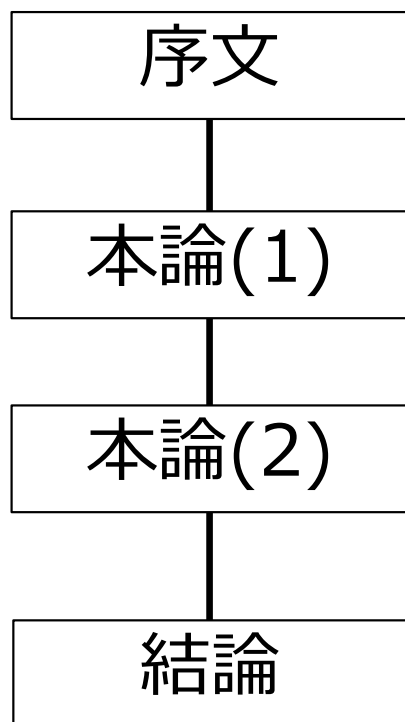
上記の現状や問題点などを根拠になる客観的に事実をもとに記述

上記状況や問題点などに対する解決方法を提案する。(結論の部分がやや大きくなる)



# 主張型

青少年期におけるスポーツ/**3年後に自分が  
なりたい姿**など



設定に対する考えを簡潔に書く

上記の現状やその根拠を記述  
**なりたい姿の動機や、より具体的な姿**

上記の考えと、その追加意見など

**なりたい姿への実現方法  
なりたい姿の発展など**